



2018年11月30日
町田市立小山中央小学校
校長 岡部 ひとみ
12月号

ICT 機器を活用した教育の推進

校長 岡部 ひとみ

作品展には、多くの皆様方に参観をいただき、ありがとうございました。

『世界に一つだけの 自分らしく輝く 作品展』と、テーマを考えたのは代表委員会です。このテーマにふさわしく、児童一人一人が、創造力をふくらませ、材料や題材に向かい、個性豊かな作品に仕上げました。

また今回も帝京大学の福島健介教授と研究室の学生さんの支援により、参観者の皆様には AR (拡張現実) を活用し、鑑賞していただきました。制作過程や紹介動画の AR パネルも新しく導入され、大規模校の限りある展示スペースの一助となりました。保護者の皆様には、家庭で専用アプリを入れていただいたり、ギャラリートークを聞いてくださったり等、御協力に感謝申し上げます。大きな行事での経験が、児童の自信につながり、達成感をもたらせます。

ところで夏休みの終わりに、本校に大型提示装置やタブレット等の ICT 機器が配備されました。このことにより、以下のようなことが期待されます。

- ・写真や動画、グラフ、児童の記述等の資料を大きく提示することにより、児童の興味・関心を高めたり、理解を深めたりする。
- ・自分で選んだ課題について効率的かつ詳細に調べると共に、調べた内容や伝えたいことについて、写真や動画を活用するなど、相手に分かりやすく伝える方法を工夫して発表する活動を充実させる。
- ・児童の意見を即時に共有し、全体傾向の把握やお互いの考えの比較・分類、整理等を行い、学習内容の理解を深める。・・・

授業で効果的に活用することにより、主体的・対話的で深い学びの実現を図りたいと考えています。決められたことを決められた通りに行うのではなく、自分でいろいろな方法を試したり、工夫したりして、新しいものを生み出していくことを願います。これからの時代に必要な思考力や判断力、表現力を培っていきます。

先日、校内を巡回すると、調べ学習にタブレットを使う、プロジェクターで算数の道のりを考えさせる、計算タイムを計時する、国語の復習・読解を提示する・・・と、各学級で機器を活用している様子が見られました。また、視覚優位のお子さんにとっても有効であるといわれています。分かりやすい・楽しい授業を展開するために ICT 機器が、よいツールとなっています。学力向上に向けて、ICT 機器の活用について一層の研鑽に励んでいく所存です。

本校は、今年度より学校評価をインターネットアンケートに変更しました。スマートフォン、タブレット端末等で QR コードを読み取る、あるいは PC などのブラウザに URL を直接入力していただくことにしました。もちろん、従来通りの用紙での回答でも構いません。御理解・御協力よろしくお願いします。